

# 青村豆十郎 推薦図書

オーソドックスなものばかりなのですが推薦図書として私が思った本を挙げておきました。

## オススメ！の作家とその本。

### オースン スコット カード

つくば市立中央図書館にある「エンダーのゲーム」とか。

本当は「無伴奏ソナタ」(早川書房 1985/12)が一番のオススメなんだけど見つからないかもしれないので。泣けるSFを書く作家。

### 阿刀田 高

エッセイがどれも良い博覧強記の作家。直木賞をとった短編集「ナポレオン狂」も一度は読んでおくといい。彼は図書館員養成所(図書館情報大学の母体)を経て国立国会図書館に務めていたことがある。

### アガサ・クリスティ

ミステリーの女王。「そして誰もいなくなった」が一押しだが、ポアロのシリーズやミス・マープルのシリーズももちろんいい。「アクロイド殺し」はまだ読んでいなくて、オチも知らないのなら一度読んでおかないといつか後悔する。もし、クリスティ作品をほとんどすべて読み終わっているのなら「春にして君を離れ」を読むといい。

### スタニスワフ・レム

つくば市立中央図書館にある「宇宙創世記ロボットの旅」。長編作「ソラリス」なら現在でも書店で手に入ると思うが短編とはちょっと趣が違うかも。

### アイザック・アシモフ

「我はロボット」は必読の書。SFのみならず科学エッセイのシリーズや、星新一が訳している「雑学コレクション」なども見かけたら手に入れておきたい一冊だ。また、推理小説の範疇になるが「ユニオン・クラブ綺談」や「黒後家蜘蛛の会」なども良い。

### 中勘助

「銀の匙」、これはどんな図書館にもあるとおもう。美文中の美文。散文の中でこれ以上美しいものは望めない。

## 教養として読んでおくと良いもの

### ルイス・キャロル

ロリコン数学教師であるが、「不思議な国のアリス」「鏡の国のアリス」によって世界中に知られる。他の作品に引用されることが多いので読まないわけにはいかない。

### 宮沢賢治

劇作や児童文学をやるならば有名どころだけでも読んでおいたほうがいい。

### ファンの多い作家群から一人か二人

人から好きな作家を聞かれたときにマイナーでない人間を数人挙げられるのが望ましい。人には好みというものがあるし、時間は限られたものだから誰もかもというわけにはいかない。

### 好きな小説ジャンルを一つ

ミステリー、ミラタリー、時代物、サイエンスフィクション、ファンタジーなんでもいい。(書けなくてもいい。読むだけでいい。)

### 得意な知識ジャンルを一つ

言語、哲学、地名、歴史、酒なんでもいいからそれについての知識を蓄える。

### その他

小倉百人一首、落語、マザーグース、シェイクスピア作品、ギリシャ神話、三国志など。すべてとは言わないが二つ三つには精通していると執筆時に便利。